

R マッピーは「道路台帳図」として使用できません

横浜市都市整備局 都市計画課

令和5年12月に、横浜市行政地図情報提供システムにて「Rマッピー」を公開しました。「Rマッピー」では、横浜市道路局が「道路台帳図」を作成する際に使用している主要なデータを抽出し、システム上に表示することでベースマップとして使用しています。

抽出している主要データは、道路台帳データからの改変はありませんが、「道路台帳図」を構成する要素としては不足しており、Rマッピーは「道路台帳図」としては扱えませんので、ご注意ください。(図1)

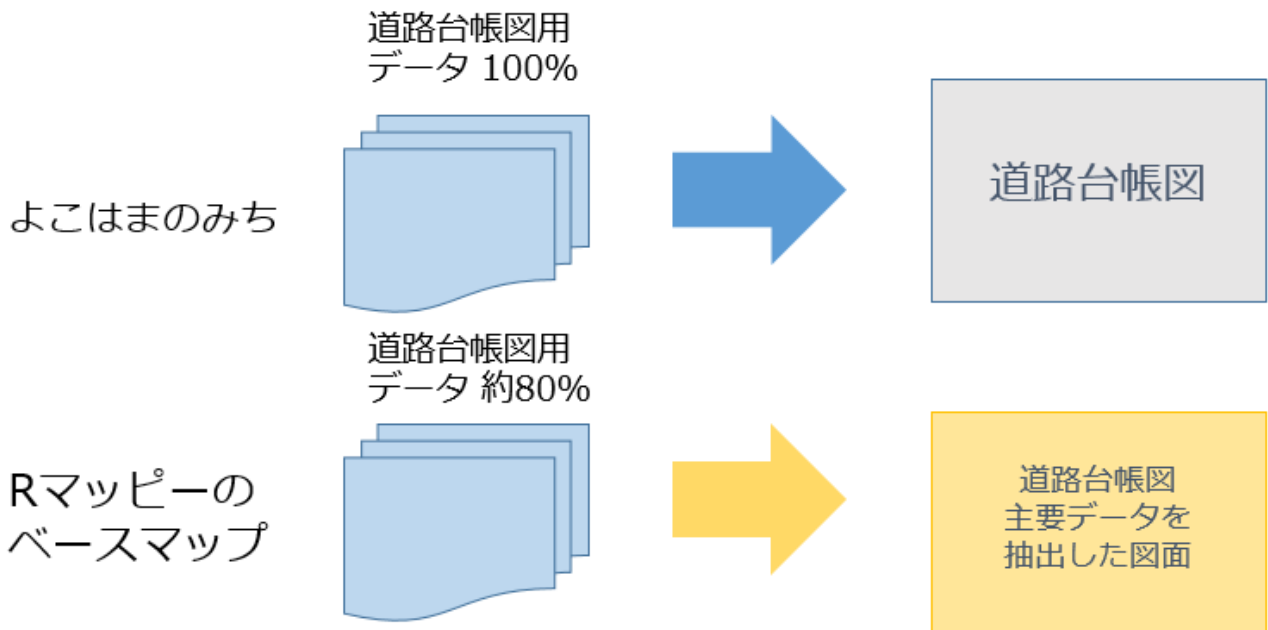


図1 道路台帳図とRマッピーのベースマップの違いについてイメージ図

Rマッパーでは、調査地の位置を特定する際に利用するため、「道路台帳図（区域線図）」には掲載されていない地形図が掲載されており、場所によっては道路区域の中に建築物が入っている様に見える箇所があります。

これは、位置情報の精度が大幅に異なっていることに起因します。道路台帳図の担保精度は縮尺 1/500 ですが、地形図の担保精度は縮尺 1/2500 です。（図2）

さらに、地形図は航空写真から作成されており、現地調査を経て作成されている道路台帳図（区域線図）及び境界調査図とはその成り立ちからして異なることも、原因の一つとなっています。（図3）



図2 精度誤差発生イメージ図

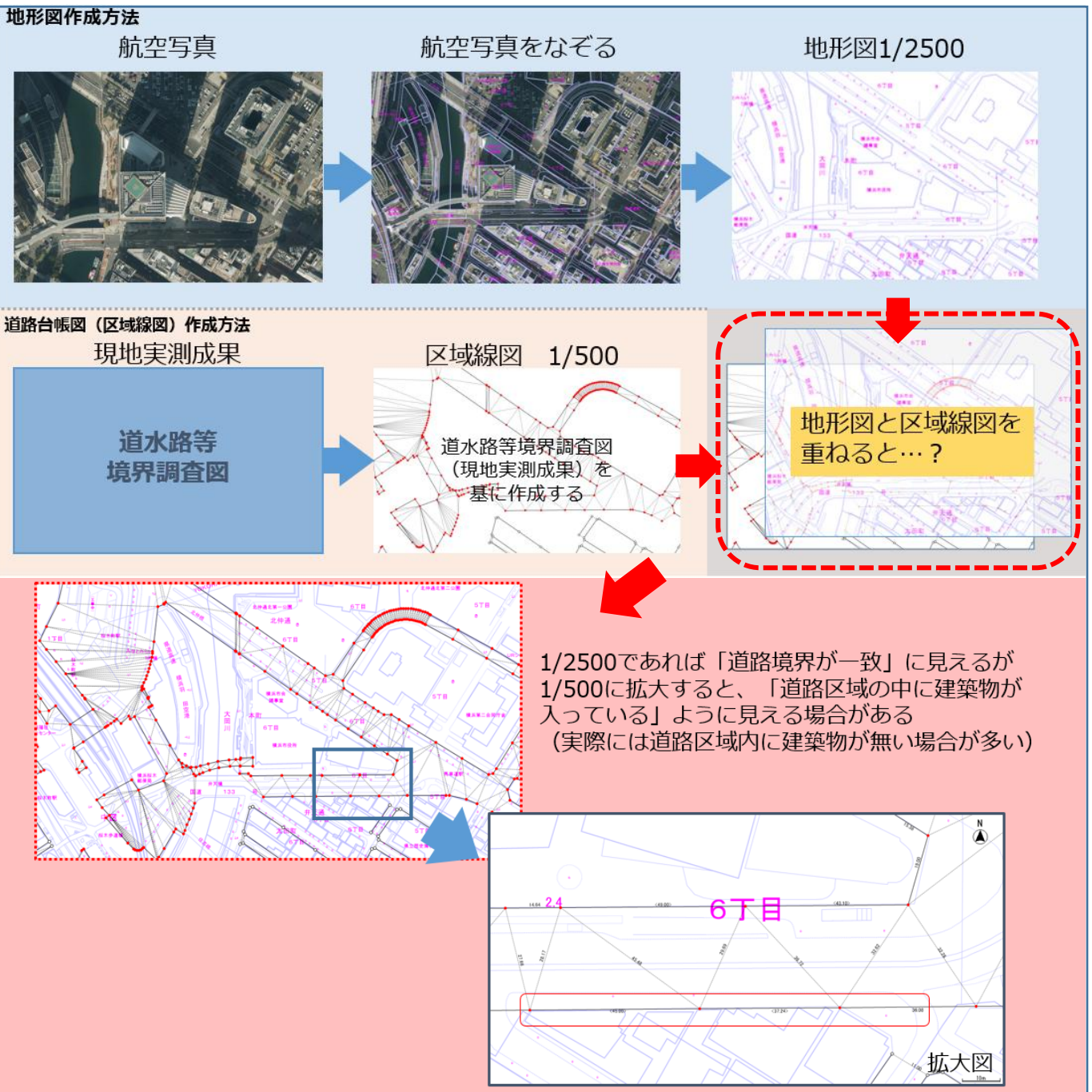


図3 地形図と区域線図との比較